

西城まちづくり便

2022.2.4
VoI. 115

☎729-5722 広島県庄原市西城町大佐734 TEL/FAX:0824-82-2175

Mail:saijyo.jichi@gmail.com facebook:西城自治振興区

健康寿命向上セミナー（第3回）

12月9日(木)

庄原市社会福祉協議会西城地域センター主催(共催:西城自治振興区)の講座が自治振興センターを会場に開催されました。今回のテーマは「運動機能向上 + フレイル予防」、講師は介護予防指導員の矢吹祐次さん。大変分りやすく、楽しいセミナーで、木曜日の午後ということもあり、地域貢献活動講座で来ていた西城紫水高等学校の生徒さんとともに参加しました。**健康寿命向上に向け、皆さまぜひご参加下さい。**



生涯学習 しめ縄づくり教室

12月16日(木)

例年、大人気の生涯学習講座「しめ縄づくり教室」を開催しました。申し込み限度いっぱいの方がご参加下さいました。講師の先生方には熱心なご指導、大変お世話になりました。また、材料のご提供をいただいた皆様ありがとうございました。この日も木曜日開催ということで西城紫水高等学校の生徒さんも参加しました。

皆様が手作りされたしめ縄は、各ご家庭の玄関等に飾られたことでしょう。

みんなで記念撮影「ハイチーズ!!」



年末のセンター大掃除

12月15日(水)

センター利用(生涯学習自主運営活動参加者)の皆さんが、大掃除をしてくださいました。おかげで気持ちよく新年を迎えることができました。年末のお忙しい中、多数のご参加をいただきました。**皆さま、ご協力ありがとうございました。**(写真は一場面)



今後の行事予定

◎パソコン教室
令和4年2月25日(金)13:30~
※予定は変更になることがあります。

お知らせ

センターご利用の皆さんへ
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
感染対策にご協力をお願い申し上げます。

今年もよろしくお願ひ申し上げます

謹んで新年のお慶びを申し上げます。



平素より皆様方におかれましては、振興区事業・活動に対しまして、ご理解ご協力を賜り、役員・事務局・地域マネージャー同心から感謝申し上げます。昨年も新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るい拡散しました。各自治会におかれましても、計画通りに事業等が推進できなかった事と推察いたします。西城自治振興区主催の各行事の多くも中止せざるを得なくなりました。そうした中で皆様のご協力により、感染防止対策を実施した上で、振興区役員会や4つ全ての部会を開催し、また地域のイベント等に参りました。新年になっても、オミクロン株が急拡大し、広島県は1月9日に「まん延防止等重点措置」の対象となりました。引き続き感染拡大予防策として、マスク着用や手指消毒の励行等を行って参りましょう。予防対策に充分留意されまして、ご家族健康で日々暮らしていただければと思います。

本年も、各自治会と自治振興区の各専門部、或いは関係機関との連携をより一層深めて様々な課題を共有したいと思ひます。また昨年より始まった「市民と語る会(庄原市議会議員と自治振興区住民との意見交換)」を受けて、地元の市議会議員さんと自治振興区との意見交換会を八幡自治振興区と協議しています(両振興区の役員会で協議します)。皆様方には、さまざまなご意見を自治会や自治振興区に頂ければと思います。自治振興区の活動につきましては順次この町づくり便や、facebook、新聞折り込み等で紹介いたします。

新型コロナ禍の早期収束と皆様方ご家族のご健勝とご多幸、ご安全を心から祈念致しまして、年初めの挨拶とさせていただきます。

令和4年1月吉日
西城自治振興区
会長 坂本 誠

西城紫水高等学校から門松の寄贈

西城紫水高等学校様より、今年も門松を届けていただきました。この門松は高校の授業の「地域貢献活動講座」の一環で、2年生の生徒さんたちが手作りされたとても立派なものでした。

今回の年末年始を通じ、自治振興センターの正面玄関に飾らせていただき、センターの利用者や、通行中の皆さんの注目を集め、玄関がとても華やかになりました。

大変ありがとうございました。



ヒバゴンのまち
西城町

自然豊かな広島県庄原市西城町の様々な情報をお届けします♪



※西城町観光協会とタイアップした情報サイトです。
名前はヒバゴンのまち西城です。
(地域の情報などを発信します)

西城町づくり便 ヒバゴンの町西城

西城自治振興区 各部会の報告

※各専門部会の取り組みについて報告します。

環境福祉部会

12月10日(金)

○部会長：奥原一誓さん(大佐村自治会)
副部会長：清本和則さん(中野一区自治会)

- 1 庄原市社会福祉協議会西城地域センター藤尾正彦次長さん講話
- ・市内(町内)の人口の動き(市内では年間約600人減少)
 - ・身近な地域で相談し合える体制の整備が必要
 - ・社会福祉協議会の取り組みや、住民が利用できる制度など
 - その他、身近な相談機関として、社協の総合相談、自立支援事業等を活用いただきたいという話を伺いました。

(資料)

「地域福祉事業のご案内」(令和3年度版)

「あふれる笑顔 この町に」(令和3~7年度、概要版)

藤尾次長さんにはお忙しい中、お世話になりました。
振興区役員会も含め、本年も連携をして参りたいと思います。
大変ありがとうございました。



社会福祉協議会
西城地域センター
藤尾 正彦 次長 さん

- 2 部会(部員より) 地域の現状、今後の取り組みについて
(藤尾次長産の講話を受けて意見交換)

- ・社協の取り組みについて今までよく分らなかったが、理解が深まった。
- ・自分は地域で近所への声掛けを行っているが、そのことで危険な状況の方を発見した。
- ・やはり日頃からの地域での付き合いが重要だ
- ・児童委員民生委員さんとも連携しよう
- ・ゴミ出しの手伝い等できることからやっつけよう。(その他)

※ 今後に向けて様々な意見が出ました。次回以降の部会はコロナの状況も踏まえつつ部会長さんと事務局で相談して部会員さんにご連絡し、皆様に部会の内容をお伝えします。

今櫛会自治会長 竹元 靖さんを偲んで

令和3年12月27日、今櫛会(大屋)自治会の竹元靖会長さんがご逝去されました。竹元さんの突然の訃報にただただ驚いております。

竹元さんは自治会長として、地元はもとより西城自治振興区の発展のためにご尽力いただきました。昨年の10月に、備後落合駅で行われたJRのおもてなしイベントでは、率先して地域振興部のメンバーとともに取組まれました。これからますます竹元さんのお力が必要と考えていました。明るくまだまだお若い竹元さんのご逝去が残念でなりません。

西城自治振興区役員、事務局を代表して、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、哀悼の誠を捧げます。



令和3年5月号より

令和3年12月
西城自治振興区会長 坂本 誠

走れ芸備線、木次線

カープのラッピング列車が町内でも見られます。(運行は不定期です)
JRの利用促進に向け、旗や横断幕が振興センターや支所その他にあります。
みんなで応援しましょう。



町の元気！ イチオシ

町内の、頑張っていてキラキラ輝いておられる人や、めずらしい、面白いものに目を向け、町の皆さんに紹介しています。

今年、23年目の「お話し会ダンボ」

代表の増永高子さんや、メンバーの皆さんにお話を伺いました。



お話し会ダンボとは？

平成10年(1998年)、12月、「絵本を通して豊かな心を育む」ことを目的に発足。町内の図書館を拠点に絵本の読み聞かせを始め、保育所や小、中学校に出向き活動の幅を広げてきた。また、比婆山連峰の古事記伝説や、ヒバゴンの話などを基にオリジナルの紙芝居を作り、地元の魅力を子ども達に伝えてきた。

活動内容

<定例活動> 2ヶ月に一度の「ダンボのお話し会」(庄原図書館西城分館にて)毎月小学校、中学校での読み聞かせ(今年度は小学校のみ)

<通年の活動>ダンボのクリスマス会、大型創作紙芝居の作成、出前お話し会

「読み聞かせ」の魅力は？

子ども達がキラキラした目で絵本にくぎ付けになり耳を傾けてくれている姿に魅了され続けてきました。そして、本によって子どもの世界を広げ、本が好きになってもらえればということなしです。

また、読み聞かせを続けていくことで、幼かった子どもたちが大きく成長していく姿を見ることができるのが楽しみです。自分も図書館通いする中で、いろいろな絵本や本と出会う事が楽しみです。

これからは？

今までの活動で、絵本やお話し好きの輪が広がってきたと感じています。今後も地域のどこへでも出向き楽しさを伝えていきたいです。

*創作紙芝居の紹介：「今櫛山伝説」、「ずっとここにいるよ」(ヒバゴン物語)、「天の岩戸」、「猪のむこ入り」、「六地藏」があります。紙芝居はどこへでも持っていきます。声をかけて下さい。



月一度の学校での読み聞かせ



「ダンボのお話し会」(庄原図書館西城分館にて)



2021年クリスマス会は人形劇

*絵本に魅せられた子ども達のきらきらした眼の虜になっているメンバーの皆さんでした。

「お話し会ダンボ」のクリスマス会へようこそ 12月18日(土)

2021年のクリスマス会は、2年ぶりの開催となりました。(会場：西城自治振興センター)お話し会メンバーによる読み聞かせに始まり、次に、「人形劇団きりり」の皆さんにより、「てぶくろ」のお話を、細やかな動きと温かい語り口で演じていただきました。子ども達は、お話の世界に入りきっていました。

人形劇の後は、実際に子ども達が話に合わせて人形を動かすという体験をしました。緊張しながらも、前に出て人形を動かすことができたという子ども達の満足感が伝わってきました。最後は、恒例のサンタクロース登場！お土産を頂いて会場を後にしました。

